

## 待望の祭事に上弁城が沸く一夜

江戸時代から続く地域の伝統行事「上弁城六夜待」が8月18日に上弁城集会所で行われました。今年も地区内外から22組60人以上が参加し、ユーモアを交えながら歌や舞踊、バンド演奏など多彩な演目を披露。惜しまれながらも約4時間続いた熱狂が終了すると、満足げな表情で家路につく姿が印象的でした。



↑ 演目終盤、アンコールで登場した地元の人気者に会場はこの日1番の大熱狂。

↓九州で2番目に広い清流、宮崎県延岡市の小川（北川水系）で大自然を体感。



## 経験が糧となり人間性を磨いた3日間

青少年育成町民会議主催の宿泊学習「夏季少年のバス」が8月18日～20日まで行われ、町内の小4から中3までの児童生徒40人が参加。宮崎県延岡市や五ヶ瀬町、高千穂町を訪れ、大自然の中で竹箸作りや沢登りなどを体験しました。子どもたちはこの貴重な研修をとおり、主体的に動く大切さを学びました。

↓出演者総出の餅まきで、会場全体が一体となった笑顔あふれるフィナーレ。



## 演芸会につながる地域の伝統と交流

春田地区を代表する恒例行事「六夜様祭」が8月25日に春田公民館で行われました。素人演芸会と題し、幅広い年齢層の24組が声援とおひねりが飛び交う楽しい舞台を披露。日頃の練習の成果を披露する場として、また地域の交流を温める場として愛される伝統の祭りは、今年も多く笑顔に包まれて幕を閉じました。

## 第37回 ふれあい書道展 第二長寿園利用者14人が初受賞

第二長寿園（金田）は、全国の書道愛好家を対象とした公募展「ふれあい書道展」に初応募。デイサービス利用者14人が特選や奨励賞などを受賞しました。5年前から月1回、書道の先生を招いて教室を開始。書道教室のある日は特に利用者が多く、最初は筆も持てなかった人も、今では力強い筆さばきで上達しています。



↑それぞれの受賞作が載った賞状を手に笑みを浮かべる80歳以上のみなさん。

↓福智を照らす大きな花火を見上げながら「来年もまた来ようね」と人々は夏の終わりを惜しまました。



## 福智に咲き誇る大輪の花

今年で13回目を迎える「水と灯火の夕べ」が8月25日に彦山川・中元寺合流地点で開催されました。18店の露店も並び会場は日暮れ前から盛況に。盆踊りでは櫓を囲み踊り手が大きな輪を作りました。イベントは夜空に開く約800発の花火でフィナーレを迎え、来場した約1000人も大興奮。花火にそれぞれの思いを重ねながら、夏の一夜を満喫しました。

## 夏の夜に憩い語らうビアガーデン

商工会主催の「福智町憩いの夕べ」が8月19日に商工会館前で行われました。夏の暑さも和らいだこの日、露店が並ぶビアガーデンは席が見つからないほどの大盛況。特設ステージでは年齢問わず楽しめる企画も行われ、家族や友人と談笑する姿が各所で見られるなど、それぞれが夏の夜に思い出を刻みました。



↑イベントの最後を飾る花火まで多くの人が残り、語らう姿が見られました。

↓誇らしい成績に賞状を掲げる表情も自信に満ちあふれるB&Gの生徒たち。



## 優秀な成績をおさめ大健闘した21人

福岡県B&Gスポーツ大会が福智町B&G海洋センター（金田）で8月25日に行われ、水泳の部に3市町から106人が参加しました。学年別、種目別に71レースが繰り広げられ、全員が優秀な成績をおさめた福智町B&Gから出場した選手たちは、「この結果を糧に今後も練習に励みたい」と充実感をにじませました。